

## 第2回 学校評価 ～12月に実施したアンケートの結果をお知らせいたします。

重点	番号	対象	○ 似たような傾向の設問をまとめて、教員、児童、保護者を比較しています。	よい	ややよい	やや不満	不満	無(?)	今後の対策と改善点
学習指導	1	教	教材研究に励み、ICT機器を活用するなど、分かる授業に努めた。	71%	14%	0%	0%	14%	・1「じゅぎょうは、わかりやすい」と答えた児童が、R5年7月の調査(以下、前期)の62%から、76%に上昇した。分かる授業に努めた教員も43%から71%に増え、指導の効果が上がっていると考えられる。 ・前期課題であった2「家庭学習」が改善傾向にあるため、今後も家庭との連携を大切にしながら、家庭学習の習慣の育成に努めたい。 ▲「読書習慣の定着」については、まだ改善の余地があるため、読書指導に力を入れていきたい。
		児	じゅぎょうは、わかりやすい。	76%	24%	0%	0%	0%	
		保	お子さんは、学習したことがよく分かっている。	25%	67%	4%	0%	4%	
	2	教	家庭学習の習慣が定着するための指導を行った。	57%	14%	0%	0%	29%	
		児	学年のめやすの時間、家でべんきょうしている。	73%	21%	0%	3%	3%	
		保	お子さんは学年の目標時間(低30分、3年生40分、4年生50分、5年生60分、6年生70分)勉強している。	21%	58%	21%	0%	0%	
	3	教	児童の読書習慣が定着するよう指導した。	29%	43%	0%	0%	29%	
		児	本をよくよんでいる。	67%	30%	3%	0%	0%	
		保	お子さんは、よく読書をしている。(学校での読書も含む。)	29%	33%	29%	4%	4%	
生活指導・生徒指導	4	教	明るいあいさつや返事・言葉遣いの指導を適切に行った。	43%	57%	0%	0%	0%	▲児童は学校で元気良く挨拶できており、地域での挨拶についても青パトの方々から良くなってきたと評価していたが、保護者と児童の、5「挨拶・言葉・返事」の評価が、前期よりも下がっていた。 ・7「手伝い」については、保護者の評価が上がっていた。今後も家庭での手伝いの習慣が定着するよう見守っていきたい。 ・以前から本校の課題であった8「整理整頓」については、前期よりも評価が上がっていた。特に、「身の回りの片付け」について、適切に指導した」と回答した教員が、43%から86%と2倍に増えていた。それに伴って、児童の自己評価も上がっていたため、今後も家庭と学校で継続して片付けの意識付けを行っていきたい。
		児	あかるいあいさつやへんじができています。	55%	42%	3%	0%	0%	
		保	お子さんは、明るいあいさつや返事、正しい言葉遣いができています。	21%	63%	17%	0%	0%	
	5	教	児童に基本的な生活習慣が身に付くよう指導した	57%	29%	0%	0%	14%	
		児	早ねや早おきができ、あさごはんを食べている。	67%	27%	3%	0%	3%	
		保	お子さんの食事・睡眠・排便などの健康づくりに気を付けている。	42%	58%	0%	0%	0%	
	6	教	ボランティアに積極的に参加するよう指導した。	43%	43%	0%	0%	14%	
		児	朝ほうしやそうじをがんばっている。	73%	24%	3%	0%	0%	
		保	お子さんは、ボランティア・奉仕的活動に取り組もうとしている。	17%	46%	33%	4%	0%	
	7	教							
		児	いえで、進んで手つだいをしている。	52%	42%	3%	3%	0%	
		保	お子さんは、よく手伝いをしている。	46%	33%	21%	0%	0%	
	8	教	身の回りの片付けについて、適切に指導した。	86%	0%	0%	0%	14%	
		児	きょうしつをつくえやロッカーの中がせいとんできています。	45%	48%	6%	0%	0%	
		保	お子さんは、身のまわりの整理整頓ができています。	4%	42%	42%	13%	0%	
人権教育	9	教	思いやりの心を育てる指導をした。	57%	43%	0%	0%	0%	▲教員の9「思いやりの心を育てる指導をした」については、前期の71%から57%に下がっていた。
		児	友だちに、やさしくしている。	76%	21%	0%	0%	3%	
		保	お子さんには、思いやりの心が育っていると思う。	42%	54%	4%	0%	0%	

番号	番号	対象	○ 似たような傾向の設問をまとめて、教員、児童、保護者を比較しています。	よい	ややよい	やや不満	不満	無(?)	今後の対策と改善点
人権教育	10	教	善悪の判断や正義感について適切に指導した。	57%	29%	0%	0%	14%	<p>今後は、機会を捉えて思いやりの心を育てる教育に力を入れていきたい。</p> <p>・10「善悪の判断」についてよいと評価した保護者が33%から42%に、児童が56%から64%に増加した。</p> <p>・「いじめ・不登校の早期発見と事案対処に努めた」「児童の様子をよく観察し、悩みや心配事の解決に努めた」について、「よい」と回答した教員が増加した。児童の11「なかよくきょう力できている」の評価も前期に引き続いて高い。</p>
		児	よいことをすすんでおこない、わるいことはしないようにしている。	64%	30%	3%	3%	0%	
		保	お子さんは、善悪の判断ができていると思う。	42%	50%	8%	0%	0%	
	11	教	認め合い、励まし合い、支え合う集団作りに努めた。	43%	57%	0%	0%	0%	
		児	友だちとなかよくきょう力できている。	76%	21%	0%	0%	3%	
		保	お子さんは、友達と仲良くできていると思う。	38%	54%	0%	0%	8%	
	12	教	いじめ・不登校の早期発見と事案対処に努めた。	71%	29%	0%	0%	0%	
		児	人がいやがることをいったりしったりしていない。	70%	27%	0%	3%	0%	
		保	お子さんは、いじめたりいじめられたりしていないと思う。	54%	25%	4%	4%	13%	
	13	教	児童の様子をよく観察し、悩みや心配事の解決に努めた。	57%	43%	0%	0%	0%	
		児	こまったことやしんぱいなことを、先生やかぞくにそうだんできる。	64%	21%	0%	6%	9%	
		保	お子さんは心配事があっても解決する方法を持っている。(相談できる人がいる。)	42%	58%	0%	0%	0%	
健康安全	14	教	家庭と協力し、食習慣や睡眠など好ましい生活習慣の確立に努めた。	29%	57%	0%	0%	14%	<p>▲「学校へ行くのが楽しい」と回答した児童は、前期に引き続いて多かった。しかし、「当てはまらない」と回答した児童がいたり、保護者の評価が下がったりしたため、今後も実態把握、児童理解に努め、改善を図っていきたい。</p> <p>・16「火じやじしん、ふしんしゃからじぶんをまもるほうほうがわかっている」に「よい」と回答した児童が、前期の68%から88%に増加しており安全意識の高まりを感じた。</p>
		児	早ねや早おきができ、あさごはんを食べている。	67%	27%	3%	0%	3%	
		保	お子さんの食事・睡眠・排便などの健康づくりに気を付けている。	42%	58%	0%	0%	0%	
	15	教	児童の不安を解決し、安心して登校できるよう努めた。	43%	43%	0%	0%	14%	
		児	学校へ行くのが楽しい。	79%	18%	0%	3%	0%	
		保	お子さんは、明るい気持ちで学校へ行っていると思う。	46%	50%	4%	0%	0%	
	16	教	児童に安全対応能力を身に付けさせるための指導をした。	57%	43%	0%	0%	0%	
		児	火じやじしん、ふしんしゃからじぶんをまもるほうほうがわかっている	88%	12%	0%	0%	0%	
		保	家庭で、火災・地震など災害時の避難方法について話している。	21%	46%	29%	4%	0%	
家庭との連携	17	教	参観日やPTA行事を生かして保護者、地域との連携を図った。	29%	71%	0%	0%	0%	<p>・17「多田が好き」について「よい」と回答した児童が、前期の88%からさらに94%と増加した。さらに、21「家の人と学校での生活についてよく話す」に「よい」と回答した児童が、前期の53%から73%に増えていた。今後も、親子のコミュニケーションや、地域行事への参加等を通して、児童の健全育成に家庭と連携して取り組みたい。</p>
		児	多田が大好き。	94%	3%	0%	0%	3%	
		保	参観日やPTA行事の回数や内容は、適切である。	50%	38%	4%	0%	8%	
	18	教	学校だより・学級通信・ホームページなどで学校の様子を伝えた。	43%	57%	0%	0%	0%	
		児							
		保	学校は、通信やホームページなどで、情報を積極的に公開している。	38%	58%	4%	0%	0%	
	19	教	保護者や地域からの意見や要望に適切に対応した。	43%	43%	0%	0%	14%	
		児							
		保	学校は、連絡したことや相談したことに適切に対応している。	63%	29%	8%	0%	0%	
	20	児	家に帰るのがうれしい	85%	15%	0%	0%	0%	
21	児	家の人と学校での生活についてよく話す。	73%	15%	3%	3%	6%		